

明治四十五年七月二日印刷
明治四十五年七月五日發行

定價金壹圓二拾錢

著 者

吉 岡 郷 甫

發 行 者

上 原 才 一

發 行 所

光 風 館 書 店

(電話本局二千三十九番)
(振替東京三百二十七番)

印 刷 者

善 波 民 藏



所捌賣大

東京市神田區表神保町 東京堂書店
同 日本橋區數寄屋町 林 平次郎
大阪市東區備後町 吉岡寶文館
名古屋市中本町三丁目 川瀬書店

廣島市鹽屋町 積善館支店
久留米市米屋町 菊竹金文堂
福岡市博多中島町 積善館支店
熊本市新町二丁目 長崎次郎

鹿児島市仲町 吉田書房
金澤市片町 宇都宮書店
長野市大門町 西澤書店
松本市本町二丁目 高美書店





一



所 捌 賣 大 書 圖 行 發 館 風 光

[illegible]

東京高等師範學校教授 吉田彌平先生編

文部省檢定濟

師範學校國文教科書

豫備科 本科 第二科 講習科
全五冊 全六冊 全壹冊 全四冊

編纂之要旨

- ①主として現行の師範學校教授要目に據り、なほ實地教育家の定説に鑑み成るべく公正博大の見地に立つて材料を蒐輯せんと。
- ②而も其の趣味の育成、常識の發達、品性の修養、この三大要件の下に最も慎重に、適切な材料を撰擇すること。
- ③特に觀念興起せしむべき教育家の傳記・逸事・書翰を始とし、教育に關せる趣味あり生氣ある論策、說話等を採録すること。
- ④普通の散文は勿論、口語文、書翰文及び韻文等もみなそれ／＼本色あり特長あり、一を以て他を推すべからざるものなる故に生徒の學力に應じて適當にこれを採録すること。
- ⑤生徒作文の模範として之を讀本の中に求むべきものとし、毎卷取つて模範とすべき時文・口語文及び書翰文を收録すること。
- ⑥本文の理會を確實にし、古人を尙友せしめんが爲、出處正確なる圖譜・筆蹟等を挿入し、送り假名・句讀等も一定すること。

東京高等師範學校教授 文學士 中村久四郎先生編

文部省檢定濟

師範學校漢文教科書

和裝美本 全四冊
正價 一・二 各金二・五
郵稅 三・四 各金二・五
各金六錢

編纂之要旨

- ①材料の配列・體裁は、簡より繁に易より難に進み、且つ成るべく事實の連絡を保ちたり。其の初めに短文を撰し、漸次に長篇を收め、又初めには邦人の文を載せ、漸次に漢人の文に及べり、これ彼の曉り難きは、此の知り易きに若かさればなり。
- ②材料は、力めて多方面に亘り、倫理・文藝・史傳・地理・紀行・實業等の事柄を網羅し、各種の文體及び時文によりて、又國體・忠孝・勤儉・義烈・風教・情探に關するものゝ蒐め、以て讀者の心地を開發し、堅實穩健なる思想を養成せんことを計りたり。
- ③史傳は、人格養成上に於て多大の効果を有す。故に本書は比較的多く之を收め、又詩賦・格言を挾み、諷誦の間高雅清新なる趣味と特殊の妙味とを掬せしめんとせり。
- ④句讀・訓點に就ては、其の進歩の程度に従ひ斟酌省略して文章の組織に留意し、漸次に實力を養成せしめんことを計りたり。
- ⑤地圖・舊蹟等本文の理會に必要なものを挿入し、又肖像・筆蹟を挿み、古人を欽慕し前賢に私淑するの資となせり。

東京高等師範學校教授 吉田彌平先生編

文部省檢定濟

中國教科書

和裝美本全三十冊
正價一、一各金廿五
郵稅各金六錢

編纂之要旨

- 本書に採録せる文章は、形式よりいへば、毎卷その要部を占むるものは今體の普通散文即ち時文なり。これ現代の社會に生活し、呼吸する以上は、決して時文を輕視すること能はず、而も夫の新鮮活潑にして活氣横溢し、向上進歩の大勇猛心を鼓舞すべき文章の如きは、自然の必要より出れる青年學生が内心の要求として、時文の喜んでこれを提供せんとする所なればなり。古文は又古文として自家獨得の地歩を占領す。蓋し吾人日本人に特有なる、而して特に愛重すべき國民的情操、國民的精神は實に三千年來の浸潤變化の結果に於て已に漸くその勢力を増加し來たるを見る、況や方言を矯正し、國語を統一するは今日の急務たるに於いてを、即ち採録に意を用ひてこれを收めたり。
- 書翰文は漸次に時文乃至口語文に接近すべき傾向を有するもの如し、然れども、今日遽かにこれを廢せんとするが如きは固より輕率たるを免れず、殊に哲人名士の手簡は其の人格を飾りて露出して、暗黙の間にその感化を受ける益鮮なからざれば、これを容めたり、彼の『中學卒業生が手紙』をたに満足には認め得ずといふが如き世間の批難も亦熟慮を要せずや。
- 韻文は新體詩、今樣、俳句、短歌、狂歌等を受む。新體詩は清新なるものにして格調の奇僻に失せざるものを探り、今樣は流麗にして古怪ならざるものなるを探り、俳句、短歌、狂歌等は一代若しくは一人の作風を代表すべきものを探る。韻文の撰擇は成るべく世の公論に基づき、務めて自家の好惡を憤り、又廣く人口に膾炙せるものにて精粹を以て許すべからざるもの、雖もこれを採録せしものあり、これまた國民文學の共有性に對して已むべからざる處置なりと信ずればなり。
- 一課乃至數課を割いて、この種の文字を收めたり。
- 諸曲、狂言、戯曲、粹史等の如きは、また各特殊の趣味を有す、即ちその純粹にして自家の面目を發揮せるものは、節録してその一翫を味はしむ。
- 裝束調度、名勝舊蹟等の繪畫及び地圖等にして本文を理會するに必要なものは、これを挿入し、又古人を仰慕し前賢に私淑するに資せん爲、肖像、筆蹟等を挿入せり、而して豎頭には類字・故事・典據・地名・人名等を註し對照に便せり。

東京高等師範學校教授 吉田彌平先生編

文部省檢定濟

中國教科書

洋裝美本全三十冊
正價一、一各金廿五
郵稅各金六錢

本書は改正中學校教授要目に準備し新に編述せるものなり。而して其の趣旨とする處は、成るべく専門的の理論を避け、實地の活用に適切なる知會識を得せしめんことに留意し、力めて穩健中正の見地により、教授者が敷衍の餘地の多からんことを期したり。

東京高等師範學校教授 文學博士 佐々政一先生編

— 文部省檢定濟 —

女子國文教科書

和裝 正價 各本全拾冊
郵稅 各金廿五錢
六錢

編纂之旨

- 本書は改正教授要目に準據して、高等女學校の國語教科書として編纂せるものなり。
- 本書の文體は普通文・口語文・書翰文・韻文の四種より成り、その主體をなすものは、普通文にして、就中現代文最も多きを占む。而して近世文は卷五より之を載せ、近古文に至りては卷七より次第に之を掲げたり。
- 其の材料は多方面に採り、國民性を發揮し、忠良賢哲の言行及び佳言、善行に當める女子の事蹟を敘述し、又婦德を涵養し、自然の景趣、風流閑雅なる逸事を描寫して、優美なる心情を陶冶せしめんことを期せり。
- 送假名は國語調査會の所定に據り、句讀法は往年文部省圖書課に於て立案せるものに則り、國定の小學讀本と其の軌を同じふしたり。
- 地圖挿畫の類は、本文の理會に必要なものを挿入し、又肖像・筆蹟を挿みて、之により古聖を景仰し、先哲に私淑する所あらしめんことをも期せり。

宮内省御歌所主事 阪正臣先生書

— 文部省檢定濟 —

女子書鑒

折本 正價 各本全四冊
郵稅 各金廿二錢
（卷一・二・三各金四錢）

女子消息帖

折本 正價 各本全二冊
郵稅 各金廿五錢
（各金四錢）

東京高等師範學校教授 文學士 保科孝一先生編

實業學校國語教科書

豫本
科用全
價各金貳拾五錢
郵稅各金六錢
冊四

●本書は國定の小學讀本に連絡を求めて、材料の重複を避け、假名遣の一致を計り、文章は總べて現代名家の筆に成れるものを探り、文學的材料を收め、興國進取の氣象を鼓舞し、堅實健全なる思想を涵養し、更に心意の圓滿完美なる發達をなさしめんことを期し、編纂したるものなり。

●漢文は近代大家の作にして志氣を鼓舞する底の諸篇を選び、又最新の實業的舞臺より材を探り、以て將來國家の中堅たるべき實業家を

として高潔なる品性と、堅忍不拔なる奮闘心と、優雅なる趣味とを具備せしめんことを期せり。
●鑒て材料の撰擇に重きを置き、季節に順ずるは勿論各課の聯絡を重んじたと、記事の斬新にして正確なる、内容の連絡ありて統一せる、趣味の豊富にして清新なるとは、優に現行のものに一頭地を抜けるを信ず。

東京音樂學校教授 高野辰之先生編

補習國語讀本

和裝美本全三冊
價各金三十三錢
郵稅各金六錢

信濃教育會編

補習國語讀本

和裝美本全三冊
價各金二十二錢
郵稅各金六錢

文學博士 上田萬年先生閱 農學博士 高橋偵造先生
 農學博士 横井時敬先生閱 文學士 鈴木暢幸先生 共編

新訂 農學校國語讀本

洋裝美本全參冊
 正價卷二、金三拾五錢
 郵稅各金四拾六錢

● 國定讀本に連絡を求め、なるべく材料の重複を避け、修身・法制・經濟に渉る材料を加へ、彼の天然を樂み自然物を愛重し、勞を厭はず、虚榮に憧れず、質實・剛健以て事に當る底の農業當事者に須要の指導を爲すに足るべき材料を蒐むるに注意したり。

● その文は徳川時代以下に限りて今代に多くし、力めて平明的確にして而も人を動かすに足り、或は日常作文の模範となすべく、或は一讀其の大意を汲むべきもの、或は再讀三讀して其の深意を曉るべきもの等を探るに留意たり。

● 而も其の事實はこれを横井博士に閱を求め、國語教授本來の趣旨、文體・語法等に就きては、一に上田博士の指導を仰ぎ、且つ挿むに適應の漢文を以てし、農業諸學校に於ける國語教科書として其の完全ならんことを期したり。

農學博士 高橋偵造先生 文學士 鈴木暢幸先生合編

農學校國語讀本 附屬習字帖

和裝美本全參冊
 正價各金拾五錢
 郵稅各金貳錢

文學士 鈴木暢幸先生編

日本文法

洋裝美本全壹冊
 正價金貳拾五錢
 郵稅金四錢

佐賀縣唐津中學校教諭 松尾捨治郎先生著

文部省檢定済

日本文法教本

上製美本全參冊
正價金壹圓
郵稅金八錢

▲綱要篇 (正價金參拾五錢 郵稅金六錢)

▲本篇 (正價金五拾五錢 郵稅金六錢)

▲附錄 (正價金拾錢 郵稅金貳錢)

方今、中學校用國語文典の世に布けるもの幾十種、されど眞に良著これなきは、均しく識者の嘆ずる所なり。而して國語教授中、文法の教授は、これが骨子として、最も肝要なるだけ、夫れだけ最も困難を感ずる所にして、又教授者が最も努力を要する所なり。

即ち本書は此の聖代文化の進歩に伴ひ、斯界軌近の趨勢に鑑み、眞に『時代の要求に應ずべき良著』を得んことを欲し、幾多の歲月と研究とを重ねて得たるもの、新しきに走らず、舊きに泥まず、實質あり、趣味あり、世の企望に副はしむべく、銳意専心、文法教授の上に一進歩を劃さんことを期したり。

蓋し本書は文法の爲に、畢生を賭せる著書が『熱烈なる氣魄』の凝りて成れるもの、費くは一瞥を吝まされ。

東京府立第三高等女學校教諭 芝野六助先生 大石市太郎先生 小野忠治先生合著

語法要覽

新式折本全壹冊
正價金四十五錢
郵稅金四錢

中等諸學校の國語科に於て、最も困難を感ずるものは語法の教授なり。從て生徒夫れ自身が嫌厭するものも亦語法の時間なり。これ蓋しその教授の上、取扱の上に適切な方法なきを以てなり。

本書は即ち著者多年教授の經驗が生み成したるものにして、一々これを表示して學修に便せしめたるものなれば、これを各自に持たしめ、以て運用の自在を得せしめなば、尤も簡易的確に語法の教授を完全にし得べく、生徒も又興味を以て語法上の知識を會得し、理解すること容易にして、而も記憶に便なること、恐らく理想に近きものなるべし。

文學博士 上田萬年先生序 文學士 吉岡鄉甫先生著

口語對

照

語

法

上製美本全壹冊
正價金壹圓二十錢
郵税金十二錢

我が國人は不幸にも文語・口語二種の言語を有し、文語を以て記録し、口語を以て記録し且つ對話す。正しく記録し、正しく對話せんと欲する者は文語・口語兩者の語法を知得するを要し、兩者の語法を知得せんとする者は又相互の關係及び區別をも了解せんことを要す。従來我が國語教育に於て、文語法及び口語法の對照教授の主張せらるゝもの寔に故ありと謂ふべし。

而もその組織の頗る難事たるが故に、對照教授は唯人の主張に任せて、未だ實行せられざること久し。吉岡文學士は曩に『日本口語法』を著して斯界に一大光明を興へたるの人、未だ人の着手せざるものに着手して研鑽多年、今茲に此の書を公にす。以て文語・口語兩者の語法を知るべく、文語より口語の發達せる由來をも知るべく、國語を愛重するの士、國語教授に當れるの士は必ず一讀せられざるべからざるの良著なり。

長野縣上田高等女學校教諭 藤澤倉之助先生著

文語法と口語法との對照

洋裝美本全壹冊
正價金拾五錢
郵税金四錢

中等諸學校の學生及び小學教師等のために國語文法上、時代の觀念を明かにし、文語と口語との區別を知らしめんがために編述したるものなり。その各條の説明を簡單にして練習に資し、教科書の欠を補はんことを圖りて活用語を採録せると、多くの表を挾みたるとは本書の特點なり。然り最も簡明に最も解し易く、根本よりの意識を與へんとしたる良著なり。

細川潤次郎先生序
本居豐穎先生序

葉集

郵	正	和
稅	價	裝
各	各	美
金	金	本
	二	第一
	圓	帙
八	五	各
	十	四
錢	錢	冊

本書は國文學の泰斗、文學博士木村正辭先生の撰むところ、博士が碩學にして文字の學に精通せられ、殊に萬葉集に於て造詣最も深きは、世の普く知るところなり。由來萬葉は國文の基礎にして國歌の典範なり。其の雄渾にして天真、壯大にして而も爛漫たるところ、古今を通じて其の匹儔を見ずと稱せらる。而して本書は博士が多年研鑽考究せられたる結果に成れるもの、其の用字の古音古義を闡明し、誤脱を校訂したると、引證該博明瞭にして釋義の懇篤なる實に吾が國文學界を裨益すること大なるを信ず。國學に志あるの士必ず架上に備ふべきの良著なり。

横井也有翁著 文部編修 武笠 三先生校註

註校
鵠

衣

上口插正郵
製美本全壹
繪橫井也有翁畫贊數葉
圖也有翁自畫贊數葉
價金八拾五
稅金八拾五
錢錢入葉冊

著者は熱心なる也有研究家なり、多年努力の結果先づこの書を出す、由來鶉衣はその趣を味ひ易くして字句の義を解き難きものと稱せらる。曩に阪本、佐々氏等の註釋本あれど皆拔萃にして全部に註釋を與へたるは此の書を以て嚆矢とす。その註解は明快的確頗る快し。挿む所の也有の書亦とり／＼に趣あり、附録に也有傳を添ふ。……………（『萬朝報』評）

『東京日々新聞』評　本書は也有翁のうづら衣を註釋せしものにて、其の俳文の妙味を味ふに便ならしめたるもの、辭句の説明簡にして要を得たるは喜ぶべし。山來故事の多きと言語の破格妙なからざるとは、本書をして稍難解のものたらしめたるが、讀者は今本書によりて一讀釋然たるもの多かるべし。附録として翁の傳紀と略年譜とを添えたるは、斯道研究者を益するところ多かるべく、數葉の寫眞亦珍とすべし。

文學士 中村久四郎先生序 平松折次先生編

國定 讀本 漢 字 通 覽

本書は、國定の小學讀本全部の新字及び是に連繫せる漢字を五十音順によりて配列し、これが字畫の正俗略語を辯じ、音韻及び同訓異義を明かにし、進んで地名・人名等の難訓を考證し、附録として假名付文字全部を表示したるものにして、其の編纂最も丁寧懇切を極む、實に讀本教授上不可缺の良書なり。

『教育の實際』評 本書は國定尋常小學讀本十二冊中にあらはれたる新字千三百六十字及び之に連係せる普通文字を集め、これが音・訓・正・俗を辯じ、尙讀本中の假名付文字を附録とし、書引及び字音引の二部に分ちて何れからも捜し出せる様にしてある。されば教師の參考にもなれば、又兒童復習用として用ひられる、極めて重寶な字書である。

文學博士 上田萬年先生序

木場喜一郎先生
山田寅之助先生合著

國 語 便 覽

上製美本全壹冊
正價金壹圓貳拾錢
郵稅金四拾錢

本書は主として師範學校・中學校・高等女學校等の生徒の國語科參考用書に充てんが爲に編述せるものなり。故に國語科研究上或は教授上、苟も必要な資料は悉くこれを網羅し、且、之に關する確實なる知識を得せしむべく、適切なる實例を列舉し、平易なる普通の文によりて説明を施したり。隨て國語科に關する或る事項を知らんと欲する時、多くの書籍を參照して、一々之を檢索するの煩を要せず、實に本書壹部によつて日常必須の事項を知悉するを得べく、而も攜帶に便ならしめたるは、本書の特色とする所なり。

渡邊宮内大臣題 東久世通禧伯序 阪正臣先生序

明治勅題歌集

東京高等師範學校教授

吉田彌平先生

東京高等師範學校講師

三矢重松先生共編

現代文鈔

大和田建樹先生校訂

源氏讀本

久米幹文先生序 飯田永夫先生校訂

校訂竹取物語

鴨長明先生著

東京府立第一中學校教諭

佐藤正範先生校訂

方丈記讀本

村松清陰君編

上製美本全壹冊
正價金壹圓
郵稅金八錢

和裝美本全壹冊
正價金四拾五錢
郵稅金六錢

和裝美本全四冊
正價二・二・各金廿五錢
郵稅各金四錢

洋裝美本全壹冊
正價金拾二錢
郵稅金二錢

洋裝美本全壹冊
正價金拾五錢
郵稅金四錢

文學博士 物集高見先生閱 林 治一先生著

國 文 法 解 義

光風館編輯所編

國 語 問 題 提 要

前廣島縣忠海中學校教諭 山田麒太郎先生著

國 漢 文 必 携

新潟縣高田中學校教諭 上田 稔先生著

國 語 科 筆 記 帖

光風館編輯所編

假 名 遣 一 覽

洋裝美本全壹冊
正價金四拾錢
郵稅金六錢

洋裝美本全壹冊
正價金貳拾五錢
郵稅金四錢

洋裝美本全壹冊
正價金三拾五錢
郵稅金四錢

洋裝美本全壹冊
正價金拾五錢
郵稅金四錢

折本全壹冊
正價金八錢
郵稅金二錢

文學博士萩野由之先生序

福島縣磐城高等女學校教諭

秋山角彌先生著

楠 木 正 成 公

上製頗美本全壹册
口繪寫眞版銅像筆蹟二葉
正價金七拾錢
郵稅金六錢

古來幾多の英雄豪傑は悉く史傳の感化を受けて居る、楠木正成公は就中吾等が永久に模範とし儀表とするに十分なる典型である。公が生涯を通じて事實を以て示された精神の如きは、吾等が日常夢寐の間も失ふてはならぬもので、子々孫々に傳誦せしむべきものである。國運發展に關しては、益々國民の奮勵努力を要する今日、著者が趣味ある敘述法を用ひ、正確にして詳細なる公の傳記を編し、以て國民精神上の饑渴を醫し、平時に於ける愛國心を養成し、終生の好伴侶たらしめやうとしたもの即ち本書である。

大和田建樹先生序

長野縣上田中學校校長

宮本右次先生題歌

福岡縣立中學修猷館長

柴崎鐵吉先生序

和歌山縣田邊中學校教諭

工富久吉先生題歌

三重縣師範學校校長

相澤英二郎先生序

長野縣上田中學校教諭

北村素堂先生題詩

文學士

橫山健堂先生序

大阪府桃山中學校講師

難波龍介先生序文

大阪府天王寺中學校講師

白茅田中常憲先生著

斷 脚 記

洋裝美本全壹册
正價金五拾錢
郵稅金六錢

司馬遷は幽囚せられて龍門の史今に傳はり、ミルトンは失明して失樂園東西に獨歩す。著者不幸鐵路に觸れて足を斷ち、死生の境に入して悶々病床に呻吟すること八旬、茲に『斷脚記』成る。著者は慥情に當める教育家にして、又熱誠ある文學者なり。一度筆をやる所文に詩に歌にその心情の躍如たるを見る。あゝ『斷脚記』一卷、汝はそも何を語らんとする。無我の境に何を喚き、苦痛を忘れて何を叫ばんとする。蓋し是れ著者の血と涙とより成れるもの、願くは夫れ一本を繙き給へ。